

1. 蔵波第一橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.42462	施設ID
				経度	140.03216	
蔵波第一橋 (フリガナ) (クラミダイイチキョウ)	市道蔵波41号線	千葉県袖ヶ浦市蔵波				
管理者名		路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市		一次,東日本高速道路(株)	有	一般道	指定無し	水道管

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
Ⅱ

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式		
1995	50.0	6.7	上部構造	下部構造	基礎構造
			460-④PC橋_ラーメン橋	99-その他(橋脚)	4-場所打ぐい

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

	定期点検実施年月日		2025.7.29		定期点検者		株)ネクソ東日本エンジニアリンク 門平篤志	
	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	A		B		A		()	—
上部構造	A	写真番号 1	B	写真番号 3	A	写真番号 4	()	— 写真番号
下部構造	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号
上下部接続部	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号
その他(フェールセーフ)	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 2	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

起点側



終点側

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.42462.140.03216		定期点検実施年月日		2025.7.29		定期点検者		㈲ネクスコ東日本エンジニアリング 門平篤志																	
構成要素				上部構造				構成要素				その他(伸縮装置)															
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A		想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A													
																											
写真番号		1		径間		2		部材番号		Rg01		写真番号		2		径間		1		部材番号		Ej00					
備考		通行車などによる荷重を支持する機能が低下する可能性は低い																									
構成要素				上部構造				構成要素				上部構造															
想定する状況		2-地震		構成要素の状態		B		想定する状況		3-豪雨・出水		構成要素の状態		A													
																											
写真番号		3		径間		3		部材番号		Rg01		写真番号		4		径間		3		部材番号		Rp02					
備考		荷重を上下部接続部まで伝達する機能が低下する可能性がある																									
備考		浸食等による橋台基礎や基礎地盤への影響の可能性は低い																									

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

			施設ID	35.42462,140.03216		定期点検実施年月日		2025.7.29		定期点検者		(株)ネクスコ東日本エンジニアリング		門平篤志			
該当部位			特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提				特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)				
			疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他									
上部構造			無	無	無	無	無	無	有					コンクリート片叩き落とし、浸透性固化剤塗布を実施			
下部構造			—	—	—	—	—	—	—								
上下部接続部			—	—	—	—	—	—	—								
その他(フェールセーフ)			—	—	—	—	—	—	—								
その他(伸縮装置)			無	—	—	無	—	無	無								

所見	(適宜、所見を記入) ・本橋の橋梁単位の健全度は、次回定期点検までに、長寿命化を行うにあたって時宜を得た修繕等の対策や第三者被害の防止のための措置等を行うことが望ましい状態である健全性【Ⅱ】である。 ・上部構造である主構(桁)のひびわれは、乾燥収縮等が原因と考えられ、次回点検までに地震によりひびわれが進行し、荷重を上下部接続部まで伝達する機能が低下する可能性がある。 ・本橋は1995年に供用が開始され31年が経過している。長寿命化に向けてひびわれ注入、充填、断面修復等の対策が必要である。 ・第三者被害範囲にコンクリート片が落下するような損傷があり、第三者被害防止に向けて剥落防止対策の実施が必要である。 ・地覆目地材の劣化や舗装の隙間は、躯体への漏水の影響が懸念されるため、目地の止水処理等や舗装補修等の対策が必要である。
----	---

2. 蔵波第二橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.42444	施設ID
				経度	140.03083	35.42444,140.03083
蔵波第二橋 (フリガナ) (クラナミダニキョウ)	市道蔵波40号線	千葉県袖ヶ浦市蔵波				
管理者名		路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市		一次,東日本高速道路(株)	有	一般道	指定無し	-

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
Ⅱ

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式		
1995	44.8	6.0	上部構造	下部構造	基礎構造
			460-④PC橋_ラーメン橋	99-その他(橋脚)	4-場所打ぐい

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

	定期点検実施年月日		2025.7.29		定期点検者		株)ネクソ東日本エンジニアリンク 門平篤志	
	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	A		B		A		()	—
上部構造	A	写真番号 1	B	写真番号 3	A	写真番号 4	()	— 写真番号
下部構造	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号
上下部接続部	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号
その他(フェールセーフ)	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 2	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

起点側



終点側

状況写真(様式1に対応する状態の記録)
 ○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.42444,140.03083		定期点検実施年月日		2025.7.29		定期点検者		㈹ネクスコ東日本エンジニアリ: 門平篤志													
構成要素				上部構造				構成要素				その他(伸縮装置)											
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A		想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A									
																							
写真番号		1		径間		2		部材番号		Rg01		写真番号		2		径間		1		部材番号		Ej00	
備考		通行車などによる荷重を支持する機能が低下する可能性は低い										備考		路面の走行性が低下する可能性は低い									
構成要素				上部構造				構成要素				上部構造											
想定する状況		2-地震		構成要素の状態		B		想定する状況		3-豪雨・出水		構成要素の状態		A									
																							
写真番号		3		径間		3		部材番号		Rp02		写真番号		4		径間		3		部材番号		Rp02	
備考		荷重を上下部接続部まで伝達する機能が低下する可能性がある										備考		浸食等による橋台基礎や基礎地盤への影響の可能性は低い									

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

			施設ID	35.42444,140.03083		定期点検実施年月日		2025.7.29		定期点検者		(株)ネクスコ東日本エンジニアリング		門平篤志			
該当部位			特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提				特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)				
			疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他									
上部構造			無	無	無	無	無	無	有					コンクリート片叩き落とし、浸透性固化剤塗布を実施			
下部構造			—	—	—	—	—	—	—								
上下部接続部			—	—	—	—	—	—	—								
その他(フェールセーフ)			—	—	—	—	—	—	—								
その他(伸縮装置)			無	—	—	無	—	無									

所見	(適宜、所見を記入) ・本橋の橋梁単位の健全度は、次回定期点検までに、長寿命化を行うにあたって時宜を得た修繕等の対策や第三者被害の防止のための措置等を行うことが望ましい状態である健全性【Ⅱ】である。 ・上部構造である主構(脚)のひびわれは、乾燥収縮等が原因と考えられ、次回点検までに地震によりひびわれが進行し、荷重を上下部接続部まで伝達する機能が低下する可能性がある。 ・本橋は1995年に供用が開始され31年が経過している。長寿命化に向けてひびわれ注入、充填、断面修復等の対策が必要である。 ・第三者被害範囲にコンクリート片が落下するような損傷があり、第三者被害防止に向けて剥落防止対策の実施が必要である。 ・地覆目地材の劣化や舗装の隙間は、躯体への漏水の影響が懸念されるため、目地の止水処理等や舗装の補修等の対策が必要である。 ・伸縮装置付近の路面の凹凸は、路面の走行性や歩行者等の安全性の観点から段差修正が必要である。
----	--

3. 外野橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.42444	施設ID
				経度	140.02806	
外野橋 (フリガナ)	(ソトハシ)	市道代宿横田線	千葉県袖ヶ浦市蔵波			
管理者名		路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市		一次,東日本高速道路(株)	有	一般道	指定無し	電力管,通信管

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
Ⅱ

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式		
1994	33.5	13.0	上部構造	下部構造	基礎構造
			412-④PC橋_プレテン中空床版	13-逆T式橋台	4-場所打ぐい

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

	定期点検実施年月日		2025.7.29		定期点検者		株)ネクソ東日本エンジニアリンク 門平篤志	
	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	A		B		A		()	—
上部構造	A	写真番号 1	B	写真番号 5	—	写真番号	()	— 写真番号
下部構造	A	写真番号 2	A	写真番号 6	A	写真番号 9	()	— 写真番号
上下部接続部	A	写真番号 3	A	写真番号 7	—	写真番号	()	— 写真番号
その他(フェールセーフ)	—	写真番号	A	写真番号 8	—	写真番号	()	— 写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 4	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

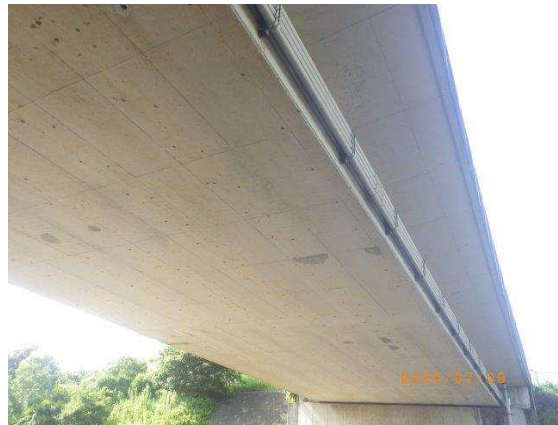
起点側



終点側

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.42444,140.02806		定期点検実施年月日		2025.7.29		定期点検者		㈱ネクスコ東日本エンジニアリング		門平篤志															
構成要素				上部構造				構成要素				下部構造															
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A		想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A													
																											
写真番号		1		径間		1		部材番号		Mg01		写真番号		2		径間		1		部材番号		Ac01					
備考		通行車などによる荷重を支持する機能が低下する可能性は低い												備考		上下部接合部からの荷重を支持する機能が低下する可能性は低い											
構成要素				上下部接統部				構成要素				その他(伸縮装置)															
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A		想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A													
																											
写真番号		3		径間		1		部材番号		Bh00		写真番号		4		径間		1		部材番号		Ej00					
備考		上部構造からの荷重を支持する機能が低下する可能性は低い												備考		路面の走行性が低下する可能性は低い											

状況写真(様式1に対応する状態の記録)
○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.42444,140.02806		定期点検実施年月日		2025.7.29		定期点検者		㈱ネクスコ東日本エンジニアリング 門平篤志													
構成要素				上部構造				構成要素				下部構造											
想定する状況		2-地震		構成要素の状態		B		想定する状況		2-地震		構成要素の状態		A									
																							
写真番号		5		径間		1		部材番号		Mg01		写真番号		6		径間		1		部材番号		Ac02	
備考		荷重を上下部接続部まで伝達する機能が低下する可能性がある																					
構成要素				上下部接続部				構成要素				その他(フェールセーフ)											
想定する状況		2-地震		構成要素の状態		A		想定する状況		2-地震		構成要素の状態		A									
																							
写真番号		7		径間		1		部材番号		Bh00		写真番号		8		径間		1		部材番号		Sf00	
備考		必要な幾何学的境界条件を付与する機能が低下する可能性は低い																					
備考		落橋を防止する機能が低下する可能性は低い																					

状況写真(様式1に対応する状態の記録)
○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.42444,140.02806		定期点検実施年月日		2025.7.29		定期点検者		ネクスト東日本エンジニアリ		門平篤志											
構成要素				下部構造				構成要素															
想定する状況		3-豪雨・出水		構成要素の状態		A		想定する状況				構成要素の状態											
																							
写真番号		9		径間		1		部材番号		Aw01		写真番号		10		径間				部材番号			
備考		浸食等による橋台基礎や基礎地盤への影響の可能性は低い																					
構成要素								構成要素															
想定する状況				構成要素の状態				想定する状況				構成要素の状態											
写真番号		11		径間				部材番号				写真番号		12		径間				部材番号			
備考																							

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

			施設ID	35.42444,140.02806		定期点検実施年月日		2025.7.29		定期点検者		(株)ネクスコ東日本エンジニアリング		門平篤志		
該当部位			特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提				特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)			
			疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他								
上部構造			無	無	無	無	—	有					コンクリート片叩き落とし、浸透性固化剤塗布を実施			
下部構造			—	無	無	無	無	有					コンクリート片叩き落とし、浸透性固化剤塗布を実施			
上下部接続部			無	—	—	無	—	無								
その他(フェールセーフ)			—	無	無	無	—									
その他(伸縮装置)			無	—	—	無	—	無								

所見	(適宜、所見を記入) ・本橋の橋梁単位の健全度は、次回定期点検までに、長寿命化を行うにあたって時宜を得た修繕等の対策や第三者被害の防止のための措置等を行うことが望ましい状態である健全性【Ⅱ】である。 ・上部構造である主桁のひびわれは、乾燥収縮や拘束の影響等が等が原因と考えられ、荷重の集中する支承部の比較的近くに発生しており、次回点検までに地震によりひびわれが進行し、荷重を上下部接続部まで伝達する機能が低下する可能性がある。 ・本橋は1994年に供用が開始され32年が経過している。長寿命化に向けてひびわれ注入、充填、断面修復等の対策が必要である。 ・第三者被害範囲にコンクリート片が落下するような損傷があり、第三者被害防止に向けて剥落防止対策の実施が必要である。 ・伸縮装置の欠損や地覆目地材の劣化や舗装の隙間は、躯体への漏水の影響が懸念されるため、伸縮装置取替や目地の止水処理等や舗装補修等の対策が必要である。
----	---

4. 代官割橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.42444	施設ID
				経度	140.02444	
代官割橋 (フリガナ)	(ダイカンワリバン)	市道蔵波36号線	千葉県袖ヶ浦市蔵波			
管理者名		路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市		一次,東日本高速道路(株)	有	一般道	指定無し	水道管

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
Ⅱ

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式		
1994	43.0	7.4	上部構造	下部構造	基礎構造
			460-④PC橋_ラーメン橋	99-その他(橋脚)	4-場所打ぐい

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

	定期点検実施年月日		2025.7.30		定期点検者		株)ネクソ東日本エンジニアリンク 門平篤志	
	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	B		B		A		()	—
上部構造	B	写真番号 1	B	写真番号 3	A	写真番号 4	()	— 写真番号
下部構造	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号
上下部接続部	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号
その他(フェールセーフ)	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号
その他(伸縮装置)	B	写真番号 2	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

起点側



終点側

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.42444,140.02444		定期点検実施年月日		2025.7.30		定期点検者		㈲ネクスコ東日本エンジニアリ		門平篤志															
構成要素				上部構造				構成要素				その他(伸縮装置)															
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		B		想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		B													
																											
写真番号		1		径間		2		部材番号		Rg00		写真番号		2		径間		1		部材番号		Ej00					
備考		通行車などによる荷重を支持する機能が低下する可能性がある																									
構成要素				上部構造				構成要素				上部構造															
想定する状況		2-地震		構成要素の状態		B		想定する状況		3-豪雨・出水		構成要素の状態		A													
																											
写真番号		3		径間		1		部材番号		Rp01		写真番号		4		径間		3		部材番号		Rp01					
備考		荷重を上下部接続部まで伝達する機能が低下する可能性がある																									
備考		浸食等による橋台基礎や基礎地盤への影響の可能性は低い																									

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

		施設ID	35.42444,140.02444		定期点検実施年月日		2025.7.30	定期点検者	(株)ネクソ東日本エンジニアリング	門平篤志
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)		
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他				
上部構造	無	無	無	無	無	有		コンクリート片叩き落とし、浸透性固化剤塗布を実施		
下部構造	—	—	—	—	—	—				
上下部接続部	—	—	—	—	—	—				
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—				
その他(伸縮装置)	有	—	—	無	—	無				

所見	(適宜、所見を記入) ・本橋の橋梁単位の健全度は、次回定期点検までに、長寿命化を行うにあたって時宜を得た修繕等の対策や第三者被害の防止のための措置等を行うことが望ましい状態である健全性【Ⅱ】である。 ・上部構造である主構(桁)のひびわれは、乾燥収縮や通行車等による繰返し荷重による疲労が原因と考えられ、次回点検までに過大な活荷重によりひびわれが進行し、通行車などによる荷重を支持する機能が低下する可能性がある。 ・上部構造である主構(脚)のひびわれは、乾燥収縮等が原因と考えられ、次回点検までに地震によりひびわれが進行し、荷重を上下部接続部まで伝達する機能が低下する可能性がある。 ・伸縮装置のゴムの劣化や後打ちコンクリートの欠損は、経年劣化や通行車等による繰返し荷重による疲労が原因と考えられ、次回点検までに過大な活荷重により損傷が進行する可能性がある。 ・本橋は1994年に供用が開始され32年が経過している。長寿命化に向けてひびわれ注入、充填、断面修復等の対策が必要である。 ・第三者被害範囲にコンクリート片が落下するような損傷があり、第三者被害防止に向けて剥落防止対策の実施が必要である。 ・伸縮装置の欠損や地覆目地材の劣化や舗装の隙間は、躯体への漏水の影響が懸念されるため、伸縮装置取替や目地の止水処理等や舗装の補修等の対策が必要である。
----	--

5. 野田橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.42361	施設ID
				経度	140.01917	
野田橋 (フリガナ) (ノダバシ)	市道野田4号線	千葉県袖ヶ浦市野田				
管理者名		路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市		一次,東日本高速道路(株)	有	一般道	指定無し	水道管

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
Ⅱ

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式		
1994	47.4	6.0	上部構造	下部構造	基礎構造
			460-④PC橋_ラーメン橋	99-その他(橋脚)	9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

	定期点検実施年月日		2025.7.30		定期点検者		株)ネクソ東日本エンジニアリンク 門平篤志	
	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	B		B		A		()	—
上部構造	A	写真番号 1	B	写真番号 3	A	写真番号 4	()	— 写真番号
下部構造	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号
上下部接続部	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号
その他(フェールセーフ)	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号
その他(伸縮装置)	B	写真番号 2	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

起点側



終点側

状況写真(様式1に対応する状態の記録)
 ○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.42361,140.01917		定期点検実施年月日		2025.7.30		定期点検者		㈹ネクスコ東日本エンジニアリ: 門平篤志													
構成要素				上部構造				構成要素				その他(伸縮装置)											
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A		想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		B									
																							
写真番号		1		径間		2		部材番号		Rg01		写真番号		2		径間		3		部材番号		Ej00	
備考		通行車などによる荷重を支持する機能が低下する可能性は低い										備考		路面の走行性が低下する可能性がある									
構成要素				上部構造				構成要素				上部構造											
想定する状況		2-地震		構成要素の状態		B		想定する状況		3-豪雨・出水		構成要素の状態		A									
																							
写真番号		3		径間		1		部材番号		Rp01		写真番号		4		径間		1		部材番号		Rp01	
備考		荷重を上下部接続部まで伝達する機能が低下する可能性がある										備考		浸食等による橋台基礎や基礎地盤への影響の可能性は低い									

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

			施設ID	35.42361,140.01917		定期点検実施年月日		2025.7.30		定期点検者		(株)ネクスコ東日本エンジニアリング		門平篤志	
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提				特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)				
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他									
上部構造	無	無	無	無	無	有					コンクリート片叩き落とし、浸透性固化剤塗布を実施				
下部構造	—	—	—	—	—	—									
上下部接続部	—	—	—	—	—	—									
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—									
その他(伸縮装置)	有	—	—	無	—	有					段差による歩行者等の躓き転倒の可能性				

所見	(適宜、所見を記入) ・本橋の橋梁単位の健全度は、次回定期点検までに、長寿命化を行うにあたって時宜を得た修繕等の対策や第三者被害の防止のための措置等を行うことが望ましい状態である健全性【Ⅱ】である。 ・上部構造である主構(脚)のひびわれは、乾燥収縮等が原因と考えられ、次回点検までに地震によりひびわれが進行し、荷重を上下部接続部まで伝達する機能が低下する可能性がある。 ・伸縮装置の変形・欠損や後打ちコンクリートのひびわれは、経年劣化や通行車等による繰り返し荷重による疲労が原因と考えられ、次回点検までに過大な活荷重により損傷が進行し、路面の走行性が低下する可能性がある。 ・本橋は1994年に供用が開始され32年が経過している。長寿命化に向けてひびわれ注入、充填、断面修復等の対策が必要である。 ・第三者被害範囲にコンクリート片が落下するような損傷があり、第三者被害防止に向けて剥落防止対策の実施が必要である。 ・伸縮装置の欠損や地覆目地材の劣化や舗装の隙間は、躯体への漏水の影響が懸念されるため、伸縮装置取替や目地の止水処理等や舗装の補修等の対策が必要である。 ・伸縮装置付近の路面の凹凸は、路面の走行性や歩行者等の安全性の観点から段差修正が必要である。
----	--

6. 鎌倉街道橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.42333	施設ID
				経度	140.01750	35.42333,140.01750
鎌倉街道橋 (フリガナ) (カマクラカイトウバン)	市道飯富上泉線	千葉県袖ヶ浦市大曽根				
管理者名		路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市		一次,東日本高速道路(株)	有	一般道	指定無し	水道管

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
Ⅱ

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式		
1994	39.3	10.1	上部構造	下部構造	基礎構造
			431-④PC橋_プレテン箱桁	13-逆T式橋台	9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

	定期点検実施年月日		2025.8.5		定期点検者		株)ネクソ東日本エンジニアリンク 門平篤志	
	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	B		B		A		()	—
上部構造	B	写真番号 1	B	写真番号 5	—	写真番号	()	— 写真番号
下部構造	A	写真番号 2	A	写真番号 6	A	写真番号 9	()	— 写真番号
上下部接続部	A	写真番号 3	A	写真番号 7	—	写真番号	()	— 写真番号
その他(フェールセーフ)	—	写真番号	A	写真番号 8	—	写真番号	()	— 写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 4	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

起点側



終点側

状況写真(様式1に対応する状態の記録)
 ○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.42333,140.01750		定期点検実施年月日		2025.8.5		定期点検者		㈲ネクスコ東日本エンジニアリ		門平篤志															
構成要素				上部構造				構成要素				下部構造															
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		B		想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A													
																											
写真番号		1		径間		1		部材番号		Mg01		写真番号		2		径間		1		部材番号		Ac01					
備考		通行車などによる荷重を支持する機能が低下する可能性がある												備考		上下部接合部からの荷重を支持する機能が低下する可能性は低い											
構成要素				上下部接続部				構成要素				その他(伸縮装置)															
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A		想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A													
																											
写真番号		3		径間		1		部材番号		Bh00		写真番号		4		径間		1		部材番号		Ej00					
備考		上部構造からの荷重を支持する機能が低下する可能性は低い												備考		路面の走行性が低下する可能性は低い											

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.42333,140.01750		定期点検実施年月日		2025.8.5		定期点検者		㈲ネクスコ東日本エンジニアリング		門平篤志															
構成要素				上部構造				構成要素				下部構造															
想定する状況		2-地震		構成要素の状態		B		想定する状況		2-地震		構成要素の状態		A													
																											
写真番号		5		径間		1		部材番号		Mg01		写真番号		6		径間		1		部材番号		Ac02					
備考		荷重を上下部接続部まで伝達する機能が低下する可能性がある																									
構成要素				上下部接続部				構成要素				その他(フェールセーフ)															
想定する状況		2-地震		構成要素の状態		A		想定する状況		2-地震		構成要素の状態		A													
																											
写真番号		7		径間		1		部材番号		Bh00		写真番号		8		径間		1		部材番号		Sf00					
備考		必要な幾何学的境界条件を付与する機能が低下する可能性は低い																									
備考		落橋を防止する機能が低下する可能性は低い																									

状況写真(様式1に対応する状態の記録)
 ○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.42333,140.01750		定期点検実施年月日		2025.8.5		定期点検者		トネクスコ東日本エンジニアリ		門平篤志											
構成要素				下部構造				構成要素															
想定する状況		3-豪雨・出水		構成要素の状態		A		想定する状況				構成要素の状態											
																							
写真番号		9		径間		1		部材番号		Aw01		写真番号											
備考		浸食等による橋台基礎や基礎地盤への影響の可能性は低い										10		径間				部材番号					
構成要素								構成要素															
想定する状況				構成要素の状態				想定する状況				構成要素の状態											
写真番号		11		径間				部材番号				写真番号		12		径間				部材番号			
備考												備考											

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

			施設ID	35.42333,140.01750		定期点検実施年月日		2025.8.5		定期点検者		(株)ネクスコ東日本エンジニアリング		門平篤志	
該当部位		特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提				特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)			
		疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他								
上部構造		無	無	無	無	—	有					コンクリート片叩き落とし、浸透性固化剤塗布を実施			
下部構造		—	無	無	無	無	有					コンクリート片叩き落とし、浸透性固化剤塗布を実施			
上下部接続部		無	—	—	無	—	無								
その他(フェールセーフ)		—	無	無	無	—									
その他(伸縮装置)		無	—	—	無	—	無								

所見	(適宜、所見を記入) ・本橋の橋梁単位の健全度は、次回定期点検までに、長寿命化を行うにあたって時宜を得た修繕等の対策や第三者被害の防止のための措置等を行うことが望ましい状態である健全性【Ⅱ】である。 ・上部構造である床版のひびわれは、乾燥収縮や通行車等による繰返し荷重による疲労が原因と考えられ、次回点検までに過大な活荷重によりひびわれが進行し、通行車などによる荷重を支持する機能が低下する可能性がある。 ・上部構造である主桁のひびわれは、乾燥収縮や拘束の影響等が等が原因と考えられ、荷重の集中する支承部の比較的近くに発生しており、次回点検までに地震によりひびわれが進行し、荷重を上下部接続部まで伝達する機能が低下する可能性がある。 ・本橋は1994年に供用が開始され32年が経過している。長寿命化に向けてひびわれ注入、充填、断面修復等の対策が必要である。 ・第三者被害範囲にコンクリート片が落下するような損傷があり、第三者被害防止に向けて剥落防止対策の実施が必要である。 ・地覆目地材の劣化や舗装の隙間は、躯体への漏水の影響が懸念されるため、伸縮装置取替や目地の止水処理等や舗装の補修等の対策が必要である。
----	--

7. 根形台第一橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.42028	施設ID
				経度	140.01361	
根形台第一橋 (フリガナ) (ネガタダイイチキョウ)	市道大曽根3号線	千葉県袖ヶ浦市大曽根				
管理者名		路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市		一次,東日本高速道路(株)	有	一般道	指定無し	—

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
I

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式		
1994	44.3	6.0	上部構造	下部構造	基礎構造
			460-④PC橋_ラーメン橋	99-その他(橋脚)	9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

	定期点検実施年月日		2025.10.7		定期点検者		株)ネクソ東日本エンジニアリンク 門平篤志	
	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	B		A		A		()	—
上部構造	A	写真番号 1	A	写真番号 3	A	写真番号 4	()	— 写真番号
下部構造	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号
上下部接続部	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号
その他(フェールセーフ)	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号
その他(伸縮装置)	B	写真番号 2	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

起点側



終点側

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.42028.140.01361		定期点検実施年月日		2025.10.7		定期点検者		㈱ネクスコ東日本エンジニアリ		門平篤志															
構成要素				上部構造				構成要素				その他(伸縮装置)															
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A		想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		B													
																											
写真番号		1		径間		2		部材番号		Rg01		写真番号		2		径間		1		部材番号		Ej00					
備考		通行車などによる荷重を支持する機能が低下する可能性は低い												備考		路面の走行性が低下する可能性がある											
構成要素				上部構造				構成要素				上部構造															
想定する状況		2-地震		構成要素の状態		A		想定する状況		3-豪雨・出水		構成要素の状態		A													
																											
写真番号		3		径間		3		部材番号		Rp01		写真番号		4		径間		3		部材番号		Rp01					
備考		荷重を上下部接合部まで伝達する機能が低下する可能性は低い												備考		浸食等による橋台基礎や基礎地盤への影響の可能性は低い											

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

			施設ID	35.42028,140.01361		定期点検実施年月日		2025.10.7		定期点検者		(株)ネクスコ東日本エンジニアリング		門平篤志		
該当部位			特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提				特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)			
			疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他								
上部構造			無	無	無	無	無	無								
下部構造			—	—	—	—	—	—								
上下部接続部			—	—	—	—	—	—								
その他(フェールセーフ)			—	—	—	—	—	—								
その他(伸縮装置)			有	—	—	無	—	無								

所見	(適宜、所見を記入) ・本橋の橋梁単位の健全性は、次回定期点検までの間、予定される維持行為等は必要であるが、特段の監視や対策を行う必要のない状態である健全性【Ⅰ】である。 ・伸縮装置の変形・欠損は、経年劣化や通行車等による繰り返し荷重による疲労が原因と考えられ過大な活荷重により損傷が進行する可能性がある。 ・本橋は1994年に供用が開始され32年が経過している。 ・第三者被害範囲に顕著な損傷も見られないため、第三者被害の可能性は低い。 ・伸縮装置の損傷や地覆目地材の劣化、舗装の隙間は、躯体への漏水の影響が懸念されるため伸縮装置取替えや目地の止水処理等の対策が必要である。
----	---

8. 根形台第二橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	35.41944 140.01306	施設ID	35.41944,140.01306
根形台第二橋 (フリガナ) (ネガタイダイニキョウ)	市道大曽根4号線	千葉県袖ヶ浦市大曽根					
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)		
袖ヶ浦市	一次,東日本高速道路(株)	有	一般道	指定無し	—		

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
Ⅱ

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
1994	51.3	6.0	上部構造 下部構造 基礎構造 460-④PC橋_ラーメン橋 99-その他(橋脚) 7-既製PCぐい

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

	想定する状況								
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他		
橋(全体として)	B		B		A		()	—	
上部構造	A	写真番号 1	B	写真番号 3	A	写真番号 4	()	—	写真番号
下部構造	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	—	写真番号
上下部接続部	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	—	写真番号
その他(フェールセーフ)	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	—	写真番号
その他(伸縮装置)	B	写真番号 2	—	写真番号	—	写真番号	()	—	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

起点側



終点側

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.41944.140.01306		定期点検実施年月日		2025.10.7		定期点検者		)ネクスト東日本エンジニアリ		門平篤志															
構成要素				上部構造				構成要素				その他(伸縮装置)															
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A		想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		B													
																											
写真番号		1		径間		2		部材番号		Rg01		写真番号		2		径間		3		部材番号		Ej00					
備考		通行車などによる荷重を支持する機能が低下する可能性は低い												備考		路面の走行性が低下する可能性がある											
構成要素				上部構造				構成要素				上部構造															
想定する状況		2-地震		構成要素の状態		B		想定する状況		3-豪雨・出水		構成要素の状態		A													
																											
写真番号		3		径間		3		部材番号		Rp01		写真番号		4		径間		1		部材番号		Rp02					
備考		上下部接合部からの荷重を支持する機能が低下する可能性がある												備考		浸食等による橋台基礎や基礎地盤への影響の可能性は低い											

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

			施設ID	35.41944,140.01306		定期点検実施年月日		2025.10.7		定期点検者		(株)ネクソ東日本エンジニアリング		門平篤志	
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提				特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)				
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他									
上部構造	無	無	無	無	無	有					コンクリート片叩き落とし、浸透性固化剤塗布を実施				
下部構造	—	—	—	—	—	—									
上下部接続部	—	—	—	—	—	—									
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—									
その他(伸縮装置)	有	—	—	無	—	無									

所見	(適宜、所見を記入) ・本橋の橋梁単位の健全性は、次回定期点検までに、長寿命化を行うにあたって時宜を得た修繕等の対策を行うことが望ましい状態である健全性【Ⅱ】である。 ・上部構造である主構(脚)の補修・補強材の損傷は、経年劣化や雨水等が原因と考えられ、次回定期点検までに地震等により損傷が進行し、荷重を上下部接合部まで伝達する機能が低下する可能性がある。 ・伸縮装置の変形・欠損は、通行車等による繰り返し荷重による疲労が原因と考えられ、次回定期点検までに過大な荷重により損傷が進行する可能性がある。 ・本橋は1994年に供用が開始され32年が経過している。長寿命化に向けて断面修復等の対策が必要である。 ・第三者被害範囲にコンクリート片が落下するような損傷があり、第三者被害防止に向けて剥落防止対策の実施が必要である。 ・伸縮装置の段差は、走行性が低下する可能性があるため伸縮装置取替え等の対策が必要である。 ・伸縮装置の損傷や地覆目地材の劣化、舗装の隙間は、躯体への漏水の影響が懸念されるため伸縮装置取替えや目地の止水処理等の対策が必要である。
-----------	--

9. 根形台第三橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.41833	施設ID
				経度	140.01222	
根形台第三橋 (フリガナ) (ネカダダイサンキョウ)	市道大曽根5号線	千葉県袖ヶ浦市大曽根				
管理者名		路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市		一次,東日本高速道路(株)	有	一般道	指定無し	—

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
Ⅱ

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式		
1994	62.2	6.0	上部構造	下部構造	基礎構造
			460-④PC橋_ラーメン橋	99-その他(橋脚)	7-既製PCぐい

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

	定期点検実施年月日		2025.10.2		定期点検者		株)ネクスコ東日本エンジニアリンク 門平篤志	
	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	B		B		A		()	—
上部構造	A	写真番号 1	B	写真番号 3	A	写真番号 4	()	— 写真番号
下部構造	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号
上下部接続部	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号
その他(フェールセーフ)	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号
その他(伸縮装置)	B	写真番号 2	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

起点側



終点側

状況写真(様式1に対応する状態の記録)
 ○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.41833,140.01222		定期点検実施年月日		2025.10.2		定期点検者		㈲ネクスコ東日本エンジニアリ		門平篤志															
構成要素				上部構造				構成要素				その他(伸縮装置)															
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A		想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		B													
																											
写真番号		1		径間		2		部材番号		Rg01		写真番号		2													
備考		通行車などによる荷重を支持する機能が低下する可能性は低い												備考		路面の走行性が低下する可能性がある											
構成要素				上部構造				構成要素				上部構造															
想定する状況		2-地震		構成要素の状態		B		想定する状況		3-豪雨・出水		構成要素の状態		A													
																											
写真番号		3		径間		3		部材番号		Rg01		写真番号		4													
備考		荷重を上下部接合部まで伝達する機能が低下する可能性がある												備考		浸食等による橋台基礎や基礎地盤への影響の可能性は低い											

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

			施設ID	35.41833,140.01222		定期点検実施年月日		2025.10.2	定期点検者	(株)ネクソ東日本エンジニアリング	門平篤志
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)			
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他					
上部構造	無	無	無	無	無	無					
下部構造	—	—	—	—	—	—					
上下部接続部	—	—	—	—	—	—					
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—					
その他(伸縮装置)	有	—	—	無	—	無					

所見	(適宜、所見を記入) ・本橋の橋梁単位の健全性は、次回定期点検までに、長寿命化を行うにあたって時宜を得た修繕等の対策を行うことが望ましい状態である健全性【Ⅱ】である。 ・上部構造である主構(桁)のひびわれは、乾燥収縮等が原因と考えられる。地震により変状を受けやすい桁端部に発生しており、次回定期点検までに地震により損傷が進行し、荷重を上下部接合部まで伝達する機能が低下する可能性がある。 ・伸縮装置の変形・欠損は、通行車等による繰り返し荷重による疲労が原因と考えられ、次回定期点検までに過大な荷重により損傷が進行する可能性がある。 ・本橋は1994年に供用が開始され32年が経過している。長寿命化に向けてひびわれ注入、充填等の対策が必要である。 ・第三者被害範囲にコンクリート片が落下するような損傷があり、第三者被害防止に向けて剥落防止対策の実施が必要である。 ・伸縮装置の損傷や地覆目地材の劣化、舗装のひびわれは、躯体への漏水の影響が懸念されるため舗装のひびわれにシール材の注入、伸縮装置取替え、目地の止水処理等の対策が必要である。
----	---

1 0. 大曾根北坂橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.41694	施設ID
				経度	140.01194	
大曽根北坂橋 (フリガナ) (オゾネキタサカハシ)	市道大曽根6号線	千葉県袖ヶ浦市大曽根				
管理者名		路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市		一次,東日本高速道路(株)	有	一般道	指定無し	—

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
Ⅱ

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式		
1994	57.6	6.0	上部構造	下部構造	基礎構造
			460-④PC橋_ラーメン橋	99-その他(橋脚)	7-既製PCぐい

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

	定期点検実施年月日		2025.10.2		定期点検者		株)ネクスコ東日本エンジニアリンク 門平篤志	
	想定する状況							
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他	
橋(全体として)	B		B		A		()	—
上部構造	A	写真番号 1	B	写真番号 3	A	写真番号 4	()	— 写真番号
下部構造	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号
上下部接続部	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号
その他(フェールセーフ)	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号
その他(伸縮装置)	B	写真番号 2	—	写真番号	—	写真番号	()	— 写真番号

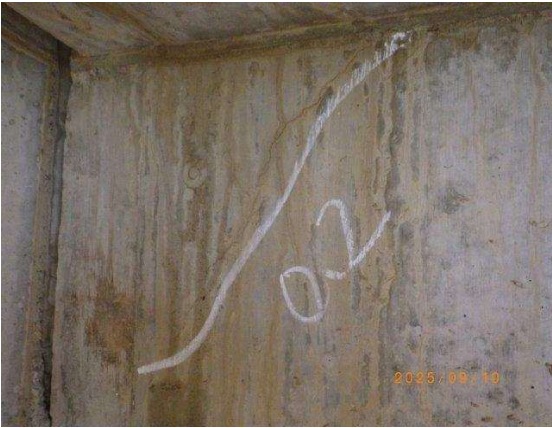
全景写真(起点側、終点側を記載すること)

起点側



終点側

状況写真(様式1に対応する状態の記録)
 ○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.41694,140.01194		定期点検実施年月日		2025.10.2		定期点検者		ネクスト東日本エンジニアリ		門平篤志															
構成要素				上部構造				構成要素				その他(伸縮装置)															
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A		想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		B													
																											
写真番号		1		径間		2		部材番号		Rg01		写真番号		2		径間		1		部材番号		Ej00					
備考		通行車などによる荷重を支持する機能が低下する可能性は低い												備考		路面の走行性が低下する可能性がある											
構成要素				上部構造				構成要素				上部構造															
想定する状況		2-地震		構成要素の状態		B		想定する状況		3-豪雨・出水		構成要素の状態		A													
																											
写真番号		3		径間		3		部材番号		Rg01		写真番号		4		径間		1		部材番号		Rp01					
備考		荷重を上下部接合部まで伝達する機能が低下する可能性がある												備考		浸食等による橋台基礎や基礎地盤への影響の可能性は低い											

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

			施設ID	35.41694,140.01194		定期点検実施年月日		2025.10.2	定期点検者	(株)ネクソ東日本エンジニアリング	門平篤志
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提	特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)			
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他					
上部構造	無	無	無	無	無	有		コンクリート片叩き落とし、浸透性固化材塗布を実施			
下部構造	—	—	—	—	—	—					
上下部接続部	—	—	—	—	—	—					
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—					
その他(伸縮装置)	有	—	—	無	—	—					

所見	(適宜、所見を記入) ・本橋の橋梁単位の健全性は、次回定期点検までに、長寿命化を行うにあたって時宜を得た修繕等の対策を行うことが望ましい状態である健全性【Ⅱ】である。 ・上部構造である主構(桁)のひびわれは、乾燥収縮等が原因と考えられる。地震により変状を受けやすい桁端部に発生しており、次回定期点検までに地震により損傷が進行し、荷重を上下部接合部まで伝達する機能が低下する可能性がある。 ・伸縮装置の変形・欠損は、通行車等による繰り返し荷重による疲労が原因と考えられ、次回定期点検までに過大な荷重により損傷が進行する可能性がある。 ・本橋は1994年に供用が開始され32年が経過している。長寿命化に向けてひびわれ注入、充填、断面修復等の対策が必要である。 ・第三者被害範囲にコンクリート片が落下するような損傷があり、第三者被害防止に向けて剥落防止対策の実施が必要である。 ・伸縮装置の損傷や地覆目地材の劣化、舗装のひびわれは、躯体への漏水の影響が懸念されるため舗装のひびわれにシール材の注入、伸縮装置取替え、目地の止水処理等の対策が必要である。
----	--

1 1. やまゆり橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	35.35722	施設ID
				経度	140.02258	
やまゆり橋 (フリガナ) (ヤマユリバス)	市道吉野田上宮田線	千葉県袖ヶ浦市大竹				
管理者名		路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ヶ浦市		一次,東日本高速道路(株)	有	一般道	指定無し	電力管、通信管

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
Ⅱ

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式		
2006年	71.4	11.4	上部構造	下部構造	基礎構造
			460-④PC橋_ラーメン橋	99-その他(橋脚)	4-場所打ぐい

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

	想定する状況								
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他		
橋(全体として)	B		B		A		()	—	
上部構造	B	写真番号 1	B	写真番号 2	A	写真番号 3	()	—	写真番号
下部構造	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	—	写真番号
上下部接続部	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	—	写真番号
その他(フェールセーフ)	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	—	写真番号
その他(伸縮装置)	—	写真番号	—	写真番号	—	写真番号	()	—	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

起点側



終点側

状況写真(様式1に対応する状態の記録)
 ○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.35722,140.02258		定期点検実施年月日		2025.6.11		定期点検者		ネクスト東日本エンジニアリ		門平 篤志															
構成要素				上部構造				構成要素				上部構造															
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		B		想定する状況		2-地震		構成要素の状態		B													
																											
写真番号		1		径間		1		部材番号		Ds01		写真番号		2													
備考		通行車などによる荷重を支持する機能が低下する可能性がある												備考		荷重を上下部接合部まで伝達する機能が低下する可能性がある											
構成要素				上部構造				構成要素				上部構造															
想定する状況		3-豪雨・出水		構成要素の状態		A		想定する状況				構成要素の状態															
																											
写真番号		3		径間		3		部材番号		Rp02		写真番号		4													
備考		浸食等による橋台基礎や基礎地盤への影響の可能性は低い												備考													

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

			施設ID	35.35722,140.02258		定期点検実施年月日		2025.6.11		定期点検者		(株)ネクスコ東日本エンジニアリング		門平 篤志	
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提				特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)				
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他									
上部構造	無	無	無	無	無	無									
下部構造	—	—	—	—	—	—									
上下部接続部	—	—	—	—	—	—									
その他(フェールセーフ)	—	—	—	—	—	—									
その他(伸縮装置)	—	—	—	—	—	—									

所見	(適宜、所見を記入) ・本橋の橋梁単位の健全性は、次回定期点検までに、長寿命化を行うにあたって時宜を得た修繕等の対策を行うことが望ましい状態である健全性【Ⅱ】である。 ・上部構造である主構(脚)及び床版の遊離石灰を伴うひびわれは、乾燥収縮や通行車両などによる繰返し荷重による疲労、上部の防水機能の低下が原因と考えられ、次回定期点検までに過大な活荷重や漏水の進行により、荷重を支持する機能が低下する可能性がある。 ・上部構造である主構(桁)の遊離石灰を伴うひびわれは、乾燥収縮や通行車両などによる繰返し荷重による疲労、上部の防水機能の低下が原因と考えられ、次回定期点検までに地震や漏水の進行により、荷重を上下部接合まで伝達する機能が低下する可能性がある。 ・本橋は2006年に供用が開始され20年が経過している。長寿命化に向けてひびわれ注入、充填等の対策が必要である。 ・第三者被害範囲に顕著な損傷も見られないため、第三者被害の可能性は低い。 ・舗装のひびわれは、躯体への漏水の影響が懸念されるため、シール材の注入等の対策が必要である。 ・舗装の路面の凹凸は、歩行者の安全性の観点から段差修正が必要である。
----	---

1 2. ヒキリ橋

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	35.35333 140.00611	施設ID	35.35333,140.00611
ヒキリ橋 (フリガナ) (ヒキリバシ)	市道吉野田上宮田線	千葉県袖ヶ浦市下宮田					
管理者名	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)		
袖ヶ浦市	一次,東日本高速道路(株)	有	一般道	指定無し	電力管		

道路橋毎の健全性の診断

告示に基づく健全性の診断の区分
Ⅱ

橋梁諸元

架設年度	橋長	幅員	橋梁形式
2006年	77.8	11.4	上部構造 121-①鋼橋(ボルト又は溶接継手)_I桁(非合成) 下部構造 81-パイルベント橋脚(RC) 基礎構造 9-その他

※架設年度が不明の場合は「不明」と記入すること。

技術的な評価結果

	想定する状況								
	活荷重		地震		豪雨・出水		その他		
橋(全体として)	A		B		A		()	—	
上部構造	A	写真番号 1	B	写真番号 5	—	写真番号	()	—	写真番号
下部構造	A	写真番号 2	A	写真番号 6	A	写真番号 9	()	—	写真番号
上下部接続部	A	写真番号 3	A	写真番号 7	—	写真番号	()	—	写真番号
その他(フェールセーフ)	—	写真番号	A	写真番号 8	—	写真番号	()	—	写真番号
その他(伸縮装置)	A	写真番号 4	—	写真番号	—	写真番号	()	—	写真番号

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

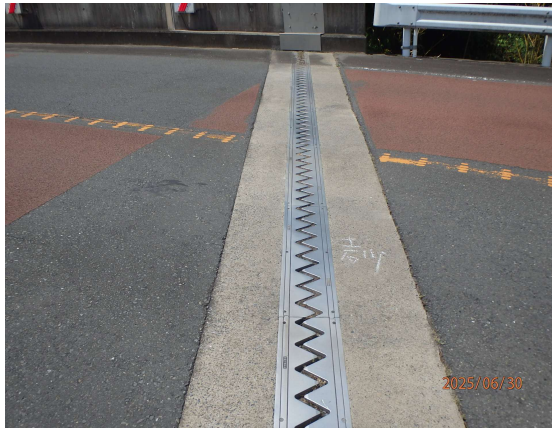
終点側



起点側

状況写真(様式1に対応する状態の記録)

○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.35333.140.00611		定期点検実施年月日		2025.7.1		定期点検者		㈱ネクスコ東日本エンジニアリ		門平 篤志															
構成要素				上部構造				構成要素				下部構造															
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A		想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A													
																											
写真番号		1		径間		4		部材番号		Mg05		写真番号		2		径間		1		部材番号		Ap01					
備考		通行車などによる荷重を支持する機能が低下する可能性は低い																									
構成要素				上下部接続部				構成要素				その他(伸縮装置)															
想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A		想定する状況		1-活荷重		構成要素の状態		A													
																											
写真番号		3		径間		4		部材番号		Bh00		写真番号		4		径間		1		部材番号		Ej00					
備考		上部構造からの荷重を支持する機能が低下する可能性は低い																									
備考		路面の走行性が低下する可能性は低い																									

状況写真(様式1に対応する状態の記録)
○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.35333,140.00611		定期点検実施年月日		2025.7.1		定期点検者		㈱ネクスコ東日本エンジニアリ		門平 篤志															
構成要素				上部構造				構成要素				下部構造															
想定する状況		2-地震		構成要素の状態		B		想定する状況		2-地震		構成要素の状態		A													
																											
写真番号		5		径間		1		部材番号		Mg01		写真番号		6		径間		4		部材番号		Ap02					
備考		荷重を上下部接合部まで伝達する機能が低下する可能性がある																									
構成要素				上下部接続部				構成要素				その他(フェールセーフ)															
想定する状況		2-地震		構成要素の状態		A		想定する状況		2-地震		構成要素の状態		A													
																											
写真番号		7		径間		1		部材番号		Bh00		写真番号		8		径間		4		部材番号		Sf00					
備考		必要な幾何学的境界条件を付与する機能が低下する可能性は低い																									
備考		落橋を防止する機能が低下する可能性は低い																									

状況写真(様式1に対応する状態の記録)
○上部構造、下部構造、上下部接続部、その他について技術的な評価の根拠となる写真を添付すること。

施設ID		35.35333,140.00611		定期点検実施年月日		2025.7.1		定期点検者		ネクスト東日本エンジニアリ		門平 篤志											
構成要素				下部構造				構成要素															
想定する状況		3-豪雨・出水		構成要素の状態		A		想定する状況				構成要素の状態											
																							
写真番号		9		径間		1		部材番号		Ac01		写真番号		10		径間				部材番号			
備考		浸食等による橋台基礎や基礎地盤への影響の可能性は低い																					
構成要素								構成要素															
想定する状況				構成要素の状態				想定する状況				構成要素の状態											
写真番号		11		径間				部材番号				写真番号		12		径間				部材番号			
備考																							

特定事象の有無、健全性の診断に関する所見

		施設ID	35.35333,140.00611		定期点検実施年月日		2025.7.1		定期点検者		(株)ネクスコ東日本エンジニアリング		門平 篤志	
該当部位	特定事象の有無 (有もしくは無)						健全性の診断の区分の前提				特記事項 (第三者被害の可能性に対する 応急措置の実施の有無等)			
	疲労	塩害	アルカリ 骨材反 応	防食機 能の低 下	洗掘	その他								
上部構造	無	無	無	有	—	無					コンクリート片叩き落し、浸透性固化剤塗布を実施			
下部構造	—	無	無	無	無	無								
上下部接続部	無	—	—	有	—	無								
その他(フェールセーフ)	—	無	無	無	—	無								
その他(伸縮装置)	無	—	—	無	—	無								

所見	(適宜、所見を記入) ・本橋の橋梁単位の健全性は、次回定期点検までの間、長寿命化を行うにあたって時宜を得た修繕等の対策や第三者被害の防止のための措置を行うことが望ましい状態である健全性【Ⅱ】である。 ・上部構造である主桁の腐食は、埋設されている水道管が損傷している可能性により漏水が発生し桁端部が常に湿潤状態であることが原因と考えられ、次回定期点検までに、腐食が進行し、荷重を上下部接合部まで伝達する機能が低下する可能性がある。 ・本橋梁は、2006年に供用が開始され20年が経過している。長寿命化に向けて止水対策を行ったうえ、鋼鈑当て板補強や部分補修塗装等の対策が必要である。 ・第三者被害範囲にコンクリート片が落下するような損傷があり、第三者被害防止に向けて剥落防止対策の実施が必要である。 ・主桁端部の漏水は、歩道部に埋設されている水道管が損傷している可能性により発生していると推測される。詳細調査により原因を特定したうえ、止水対策を行い、主桁端部の補強対策が必要である。
----	--